

第31回デメンシアカンファレンス 報告要旨

『短期記憶障害が亜急性に進行し両側海馬病変を認めた一例』

発表者：温井孝昌（富山大学附属病院 神経内科）

司会：道具伸浩（富山大学附属病院 神経内科）

【要旨】症例は67歳男性。某年7月下旬より短記憶障害が出現した。頭部MRI FLAIR画像で両側海馬に高信号病変を認めたため入院となった。短期記憶障害、見当識障害があり長谷川式簡易痴呆スケール23点であった。胸部造影CTで縦隔、右気管分岐部に腫瘤性病変を認め、FDG-PETで同部位に高度集積を認めた。腫瘍マーカーのpro-GRPが122pg/mLと高値であった。経気管支鏡的リンパ節生検を行い肺小細胞癌と診断された。血清中のP/Q type, N type カルシウムチャンネル抗体（VGCC抗体）が陽性であり、肺小細胞癌に伴う傍腫瘍性辺縁系脳炎と診断した。ステロイドパルス療法を1コース施行したが、短期記憶障害は著変なかった。呼吸器内科に転科し化学療法が開始された。化学療法後の記憶障害について外来で経過観察予定である。

【質問・意見】

質問：ランバートイートン症候群の鑑別のために末梢神経伝導速度検査で反復刺激試験を行っていますか？

回答：行っていません。

質問：N-Type 抗 VGCC 抗体陽性の辺縁系脳炎の特徴は分かっていますか？

回答：症例数が少なくまだわかっていません。

※カンファレンス後 1週間以内に北陸認プロ運営事務局へご送付ください。

(E-mail : ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp)

第31回デメンシアカンファレンスを開催

2017年10月19日

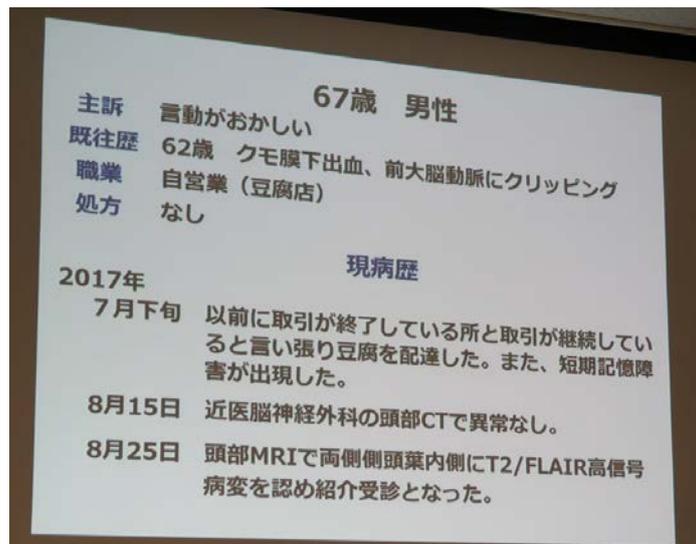
10月19日(木)に富山大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)「第31回デメンシアカンファレンス」を開催しました。

今回のカンファレンスには、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、国立病院機構医王病院、石川県立高松病院、国立病院機構北陸病院の7施設が参加しました。

「抗サイログロブリン抗体が陽性を示し、緩徐に進行した認知機能障害の1例」のタイトルで、富山大学からの症例報告が進められ、各大学、病院間で活発に質疑応答や意見交換が行われました。



症例発表の様子(富山大学会場)



症例報告のスライド



各会場の様子



質問の様子



文部科学省・課題解決型高度医療人材養成プログラム
北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)



デメンシアカンファレンス

2017年10月19日(木)18:30~20:00

「短期記憶障害が亜急性に進行し 両側海馬病変を認めた1例」

担 当:富山大学 神経内科

対 象:参加施設及びその他の施設の医療関係者
(医療系大学の学生含む)

会 場:認プロ参加施設テレビ会議システム設置場所
(〇…参加者受け入れ可)

- 〇・金沢大学 (医薬保健学域医学類教育棟地下大多目的室)
- 〇・富山大学 (附属病院2階カンファレンスルーム2)
- 〇・福井大学 (附属病院2階カンサーボード室)
- 〇・金沢医科大学 (基礎研究棟3階大学院セミナー室)
- 〇・国立病院機構医王病院 (臨床研究棟会議室)
- 〇・石川県立高松病院 (医局会議室)
- 〇・国立病院機構北陸病院 (特殊診療棟2階小会議室)
- 〇・谷野呉山病院 (共通棟1階ミーティング室)
- 〇・魚津緑ヶ丘病院 (5階会議室)
- 〇・福井県立すこやかシルバー病院 (管理棟2階応接室)



※申し込み不要

※出席される方は、受付で
出席簿に氏名等をご記入ください。

※教育コース履修者の方は、
本人保管用の受講票を受理の上、
検印を受けてください。

【お問い合わせ先】

北陸認プロ運営事務局
〒920-8640 金沢市宝町13番1号
TEL: 076-265-2149
FAX: 076-234-4208
E-mail: ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp
URL: <http://ninpro.jp/>